

としまち研会報 第7号

おいらのまち

2004.1

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会



**明けましておめでとうございます
本年もどうぞよろしく願いいたします**

新年のごあいさつ

会員の皆さん 会報をお読みくださっている皆さん

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年のとしまち研の活動には次のようないくつかの前進がありました。

としまち研会報「おいらのまち」を創刊し、隔月刊で第6号まで発行することができました。

通常総会で、活動実態に合わせて、6部会制にし、それぞれの活動内容を充実させています。

としまち研の様子が一目でわかる紹介パンフレットの第2号が発行されました。

「一木会」が第100回を数えました。

新たに多くの正会員や賛助会員を迎え、17名増えて79名になりました。

以上のように、部会の活動のなかで新たな活動組織の必要が論じられたり、コーポラティブハウスの入居者の方に賛助会員として入会していただいたり、皆さんに知っていただきたい具体的なお話は枚挙に暇がないほどです。

一方、反省すべき点も少なくありません。とりわけ、としまち研としてかかわる事業について、どのように責任をもって取り組むのかという点では大いに改善すべき内容があります。当面する問題を解決しながら、その経験を活かし、レベルアップを図っていきたいと思います。

皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

(としまち研理事長 杉山 昇)

第100回記念一木会のご報告

昨年最後の一木会は、記念すべき第100回目ということで、大槻税理士の「これまでを振り返る」スピーチのあと、一昨年の12月に引き続き、落語家の古今亭駿菊師匠に、「富久(とみきゅう)」を披露していただきました。

昔も今も年末には宝くじ(富くじ)での泣き笑いがあるのだなと感じ、ついつい年末ジャンボ宝くじを買った人も・・・?

会場のCOMS HOUSE 2階の会議室は、窓ガラスがくもってしまうほどの熱気に包まれました。

3度公演をお願いしてやっと「馴染み」になるというお話ですので、今年の年末もお願いすることにしました。(師匠も快諾)

場所を移しての忘年会は一昨年同様、マンボハウスで行いました。元気のある方たちが駿菊師匠を囲んで二次会に出かけ、相当遅くなったようです。



今月の一木会予定

第101回 1月15日 旭化成ホームズ隣の牧ノ瀬理恵さん

テーマ:「マンション建替えと高齢者」

今月の一木会は第3木曜日になります。

第3回赤沢ツアーご報告(11月24・25日)

身延山の麓で信仰と安らぎの宿場町として栄えてきた山梨県早川町赤沢に行ってまいりました。過疎に押しつぶされそうな村に長い歳月を掛けて『重要伝統的建造物群保存地区』『集落下水道事業』『石畳事業』と地元で元気をつくり続けている赤沢青年同志会の皆さんたち(元校長先生・早川町企画部長・赤沢区長・町会議員、全員が望月姓)と重要伝統的建造物群保存地区の助成金で修復された農具小屋改め忘



赤沢青年同志会長と山崎塾長



年山荘(サロン)において、盛大に座談会が行われました。皆さんがこの日のために捕らえ用意してくださった鹿刺し・熊鍋・猪鍋を囲んで、我々4人(山崎・平野・加藤・川崎さん)は酒も箸も進むと同時に会話も進み、うちとけ合って、いつしか旧知の友がごとくなって夜が更けていったのでした。(仲良くなることはとっても大事なことです)そしてまた、神田との交流会や第4回赤沢ツアーを約束してまいりました。次回は山菜取りの頃の予定です。(赤沢塾長代理 加藤正樹)



熊鍋



鹿刺し

江戸開府400周年江戸天下祭に参加しました(11月24日)



11月の寒空の下、おそろいの紫色の半纏を着て日比谷大手町界隈をお神輿担いで順行してきました。「お御輿担げてうれしいな」と思って参加したのですが、実は400周年という貴重な経験をしてしまいました。ぜひ次回も…。

参加者が着ていたおそろいの半纏は警備のための目印だったそうです。半纏を着ていれば関係者と見られたようで、防寒対策で重ね着していた半纏を飛澤さんと妻が着ることで撮影係として同行することができました。ちなみに私の妻はお囃子の音色に日本人の血が騒ぎ、これから柳ばやし(須田二)を習うことになりそうです。

(としまち研 北瀬幹哉)

本当に久しぶりに「江戸天下祭」でお神輿を担ぎました。何の準備もせずに体だけ持っていったのですが、半纏以外は自分が用意することが集合後に判明、慌ててTシャツは用意したものの足袋は間に合わず、まあ靴でも何とかかなるか、と思ったのが大間違い。実際に担いで見ると、非常に大勢が密集し靴が脱げそうになり、結局足袋の代わりに靴下1枚で参加を決意、足が多少冷たかったけれども数回にわたって神輿の重みを感じることができました。次の神田祭こそは衣装もばっちりそろえて参加しよう(現時点では)考えています。

(としまち研 戸辺文博)



千代田まちづくりサポート最終発表会(11月29日)を終えて



わからないことだらけではじまった活動でしたが、年齢層や職業も様々な方に出会うことができ、たくさんのことを学ぶことができました。活動を続けることができたのも、多くの方の協力があつたからです。良い面も悪い面も含めて神田という地域の現状を知ることができたのも良い経験となりました。学生の間にもこのような活動に参加できて、本当に良かったと思います。(共立女子大学 荒川奈津子)

手探りではじめたサポートへの参加でしたが、1年間活動をし、学校や講演では知ることの出来ない、実際のまちづくりをかじることが出来ました。しかし発表に関しては、正直な所、基礎知識もなくやみくもに進めていた部分もあってまだまだ完成という状態ではなかったと思います。手探りの私達の不躰な質問や調査に親切に対応して下さいました。皆様にとっても感謝しております。ありがとうございました。(共立女子大学 相澤まゆら)



(仮称) コーポラティブハウス西麻布募集間近になりました

「みんなの西麻布」計画は昨年1月にとしまち研会員の皆さんに呼びかけ、小委員会をつかって活動を開始しました。それから約1年、地権者の皆さんのご理解をいただき、いよいよ事業化の目処が立ってまいりました。

港区の中心部では、昨年開業した六本木ヒルズに代表されるような従来の地域社会をガラリと変える大型再開発が行われてきています。

計画地周辺は、日赤通り商店街を含む都心の高級住宅街の一角にありながら、ご近所づきあいも濃厚な、下町的な雰囲気を残すところでした。高度成長期、バブル期などを経て、否応なく地域の様子も変わってきました。

小委員会は、地権者の皆さんが、「住みつづけられ、商売をつづけられること」を基本的な課題とし、地権者の皆さんへのコンセプト提案「苞舎(ほうしゃ)」、事業手法提案「共同建替えのすすめ」などを作成して話し合いを行ってきました。



計画建物の模型写真

この間にも、都心共同住宅供給事業による補助金をいただくため、港区長への陳情書を地権者連名で提出し、議員の皆さんへの協力要請を行うなど、地権者の皆さんと力を合わせて事業の成立のための活動を行っています。

昨年12月には、地権者の皆さんの基本的な合意をいただきました。まだ調整課題はありますが、いよいよ本格的な取り組み体制に入ることになります。

としまち研の得意とする「共同建替え+コーポラティブ方式」による事業化ですが、多くの会員の協働の力により、地権者の皆さんや地域の皆さんにも喜んでいただける事業にしようと張り切っています。

お知り合いの中で、西麻布に住みたい方、ご興味のある方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

(「みんなの西麻布」計画小委員会 本間充一)



計画地からは六本木ヒルズと東京タワーが見える

神田にお住まいの方にお話を伺っています

神田にお住まいのみなさまにお話を聞きまちを歩きながめると、様々な両極端のものが同居していることに驚かされ、新しいことを知る度にとってもワクワクします。

神田小川町の藤田久子さんのお話のなかで、「神田の出身者にとってははや故郷とよべる風景はない」という言葉を聞いたとき、自分の生まれ故郷を愛する気持ちと大都市と化した現実の姿との間に大きな溝ができてしまっているのだとはっと気付きました。そして長屋暮らしを心から愛し、周囲がどんなにかわってもそれを貫き通す藤田さんの姿勢に恐れ入ると同時になにか勇気づけられたように感じました。

一方で世の流れに従い姿はビルに変わっても、神田っ子の心意気は変わらず厳しい状況下で逞しく住み続けている方々にも、底力の強さを感じます。古き良き神田を思い浮かべ、その頃から今もここに漂う「神田の空気」を味わい、これからの神田を勝手に想像しながら楽しんでいきます。(東京都立大学 水島彩子)



神田小川町で長屋暮らしをしていらっしゃる藤田さんが書いた本、「かんだ噺」を読んでみませんか。

神田の暮らしの移り変わりが手に取るようにわかり、時に楽しく、時にほろりと来るような内容です。

としまち研にて貸出中です。

興味のある方はとしまち研事務局までどうぞ。

としまち研掲示板

コーポラティブハウス

・神田東松下町パート2

11/22(土)、12/23(火)に管理の検討会を行いました。
11/22(土)の検討会後には、建物内見学、そして上棟祝いをしました。



現場見学会の様子



上棟祝いをしました

・神田司町

12/13(土)に第6回総会を行いました。
1/17(土)に管理の検討会を行います。

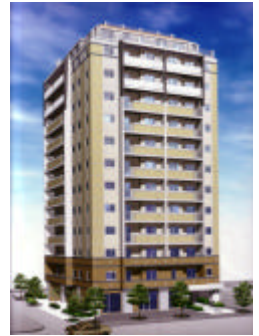
共同建替え

・神田須田町二丁目

12/15(月)に第11回の協議会を行い、工事の進捗状況等の話と忘年会を行いました。

・神田須田町二丁目共同建替えは、「クリアール神田」という名称となり、現在分譲中です

関係者の話では、神田に何らかの縁がある方が購入を決めているそうで、入居予定者の中には、「町会の方とは仲良くなれますか？」と聞かれる方もいるそうです。コーポラティブ方式ではありませんが、「コミュニティを重視したい」という方には安心のマンションです。



ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

・神田小川町

関係権利者の方とお話をしています。

調査・検討・研究会

・団地型マンションの建替え方策検討委員会

12/19(金)に第11回の検討委員会を行い、今年の進め方について、話し合いました。

・マンションと地域社会のかかわり調査 & 須田二 屋上とコミュニティルーム検討

神田にお住まいの方、コーポラティブハウスの入居者の方にお話を伺っています。

・H & C 財団「住まい・まちづくり活動・・・調査」

共同住宅・グループリビング・スモールオフィスのニーズ まちづくりファンドの組成について調査を開始しています。

その他

・「神田を歩こう」準備中

「もっと神田を知ろう」という目的のもと、現在神田の地図に書き込みをし、月1回のペースで準備を始めました。次回は1/24(土)です。

今春には実際に歩く予定です。ご興味のある方は是非ご参加を。

まちづくりのご相談は事務局へ

自宅を事務所ビルに建替え、その最上階に住まわれていた地権者の方が、テナントが入らなくなり、固定資産税が支払えなくなったために今まで住んでいた土地から仕方なく引越しをされた、という話を最近聞きました。

どのようにすれば今お住まいの場所に住み続けられるかとお悩みの方、ご相談ください。



建替え方策検討委員会



忘年会

投稿募集

「おいらのまち」では掲載記事を提供して下さる方を大歓迎いたします。思いのたけをこの紙面で大いに語ってみませんか。お待ちしております。

神田を歩こう 準備中

編集後記

今回は、「あけましておめでとう」をなるべく早くお届けしなければ・・・。ということで、昨年末から編集にとりかかりました。急な原稿のお願いを聞いてくださった皆様、ありがとうございました。皆様あつての「おいらのまち」です。本年もよろしく願いいたします。
(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE 2 階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 60人 賛助会員 19人
編集発行人 比護彰彦
事務局担当 飛澤玲奈

